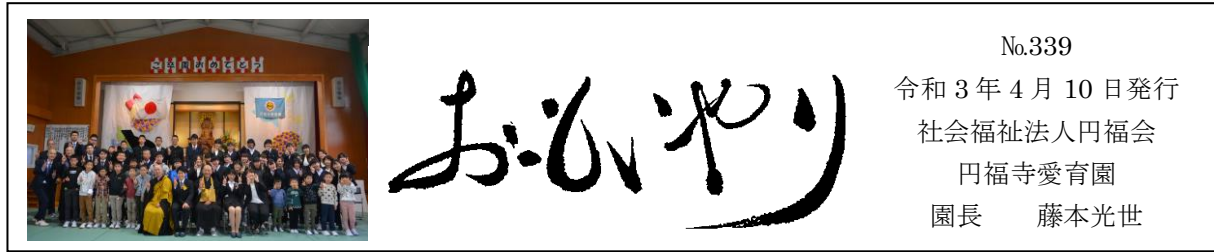


卒園式が終わり、2名の子が巣立ちました。新年度のスタートです。



令和三年度を迎えて

園長 藤本光世

令和二年度は、円福寺愛育園が一步前に出た一年でした。

まず、児童の大きな問題行動はありませんでした。児童養護施設に措置される子どもたちは、その成育歴から何らかの課題を抱えていることがあります。その課題は、色々な不適切な行動で表れます。その一つが反社会的行動です。あるいはいろいろな問題行動です。職員は、その対応で振り回されてしまう。問題行動は、その子を変えるチャンスとはいえ、その対応は大変です。それが、令和元年度までの愛育園でした。行事を創りあげる。毎日たくさん遊ぶ。何でも一生懸命にやる。それを日課に生かす。普段の生活に生かす。このことを全力でやってきて、子どもたちが少しずつ変わって、それが令和二年度に子どもたちの良い行動になって表れたと思いました。子どもたちといつも一緒にすごし、子どもたちの心を満たしてくれた職員に感謝しています。愛育園の養育の質が高まったことは、受審した第三者評価にも表れていました。

次に、子どもたちが毎日の生活を頑張るようになりました。それぞれが「夢」を持ち、卒園した後の自分を描き、目標を持って毎日を過ごすようになりました。よく勉強し、学校へは皆勤で登校するようになりました。朝夕のおまわりは大きな声が響くようになりました。誕生日会では、それぞれの子が「夢」を語り、夢の実現でがんばっていることを語ってくれます。「勉強を頑張る」とどの子も言うようになりました。令和二年度から始めた、お誕生日会に担当がお手紙（メッセージ）をカードに書いて、それを読んで渡すことをどの子も楽しみにしています。それは、担当との絆を深めるとともに、頑張る子どもたちの心の背中を押してあげることにつながっているでしょう。その一つの表れが、今年の二人の卒園児の進路でした。一人は新潟大学工学部へ、もう一人は上田女子短期大学幼児教育学科へ進学しました。嬉しかったです。

令和三年度を迎えるに当たり、考えていることを書きたいと思います。

1. 新型コロナウイルス対応

新型コロナウイルスの感染防止は、常に心におかなければならないことです。もし、新型コロナウイルスが愛育園に入ったら、全員が濃厚接触者になってしまいます。すると、すべてが停止してしまう。その対応ですべてができなくなってしまいます。だから、絶対に新型コロナウイル

スを愛育園に入れてはいけません。

感染防止に一年間努めてきました。気が緩むことが心配です。外出時のマスクの着用、外出から帰園時の手指の消毒、食事前の手洗いと消毒、朝と夜の職員による消毒、換気など、気を緩めないで感染防止対策に努めなければなりません。

このことは、最優先に職員と子どもたちをお願いします。

2. 行事の創造

令和二年度の行事は、感染防止のために園内行事となりました。でも、職員と子どもたちが頑張ってくれて、例年以上の行事を創りあげることができたと思います。子どもたちの心も満たされたと思います。今年も外部のいろいろな行事は中止になるものが多いでしょう。でも、愛育園の行事は園内行事として今年もみんなで頑張る創ってほしいと思います。

3. 毎日の遊び

職員が子どもたちとよく遊んでくれるようになりました。休日の午後は公園や川遊びに行きます。思いっきり体を動かして帰ってきます。あおぞらホームの庭は、沢で捕まえたカニや魚が入った水槽が並んでいます。釣りに行きますが、なかなか魚がかからないようです。でも子どもたちは楽しみにしています。

公園や自然の中で集団で遊ぶことは、これはこれまで日本人の誰もがやってきたことではないでしょうか。遊びの中でいろいろなことを身につけ、知り、成長したのです。愛育園でそれが出来る。コロナで学校が臨時休業中の愛育園学校の活動が生きています。令和三年度も続けて欲しいです。それは、子どもたちの心を満たし普段の生活につなげ、夢の実現と幸せな未来につながるでしょう。

4. 私の目標

私の目標は人事です。これまで13年も愛育園の経営に携わって、人事が一番の悩みの種でした。二年度末にこども・家庭課が主催した人事のズーム研修が参考になりました。実習生にアンケートを実施する。実習生とつながりをつくる。早速、このことをしました。そしてアンケート結果を手にして実習生と懇談しました。実習生に教えていただきました。

令和三年度は、見学会を実施します。これまでホームページに、愛育園を開いていることを掲載して、学生が訪問してくれることを期待しました。でも、来ません。愛育園は開かれていることを強調し、応募した学生が愛育園を知ってもらい、互いに判断しようと、実習試験を入れていました。でもそれは、ハードルが高く応募者は不安を感じるのです。そして、大学や短大では、



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

自主実習（インターンシップ）を奨励していました。でも、呼びかけないと来てくれないのです。福祉の職場説明会に出ました。愛育園のことを説明しました。学生からカードをもらいました。それを生かす手段を知らなかったのです。見学会を開けば、おいでいただいた学生に知らせつなげられるでしょう。

見学会→インターンシップ→応募とつなげる。そして採用試験は作文と面接にして、応募者の不安とハードルを下げることをやります。見学会は第1回が5月2日（日）です。感染防止に万全な対策を期して、おいでいただいた皆さんに愛育園のお話をします。子どもたちと交流します。そして、愛育園が働き甲斐がある、楽しく、とっても素晴らしい職場であることを、子どもを通して知ってもらおうと思います。

今年は、人事初年度です。職員に迷惑をかけないよう、不安をかけないよう、負担を減らすよう、大勢の学生の皆さんに愛育園を知ってもらって、応募に結び付けたいと思います。これが今年度の私の一番の課題で目標です。

令和三年度は、令和二年度の実践の上に子育てを積み重ねたいと思います。父は愛育園を「大きな家族 愛の家」と言いました。これまでは、そこまではできませんでした。でも今は「大きな家族 愛の家庭」に近づいています。愛の家庭とは親と子どもの心のつながりではないでしょうか。同じように職員と子どもたちの心のつながりができてきています。それは、絆となって、家庭的養護以上の家庭的な愛育園になるでしょう。そして、もっともっと良い子育ての場であり、良い職場になるでしょう。

皆さん宜しくお願いたします。



主任保育士 石崎早織

今年2名の児童が卒園を迎えました。私の担当児童のYさんも卒園を迎えました。Yさんは円福寺愛育園で15年生活してきました。私が初めてYさんに出会ったのは今から13年前、Yさんが年長さんの時でした。あんなに小さかったYさんがもう卒園を迎えるなんて、時が経つのがとても早くびっくりしています。

Yさんの担当を持つことになったのは高校2年生の時からでした。4月1日の担当発表では、私が彼女の担当と発表されたとき、とても喜んでくれたことが私自身もとても嬉しく今でもその様子が思い出されます。担当になってからは今まで以上にたくさん話をしてきました。学校の事、進路のこと、勉強の事、バイトの事、お友達の事、など挙げたらきりがありませんが本当に色々な話を話してきました。時にはぶつかることもありましたが、それも彼女の成長には必要だったなーと振

(令和3年4月10日発行 月刊「円福」487号付録)

り返ってみて感じます。

Yさんの進路の方向性が中々決まらなかったときもたくさん話し、保育士を目指す道が見つかりました。Yさんから「今まで私も先生たちに支えられてきたから今度は私が子ども達を支えられる存在になりたい」と言われ、私たち職員が心の支えに少しでもなれていたことがとても嬉しかったです。



卒園が目の前に迫ってきて、これからの生活に不安を感じて泣いていたこともあり、そんな姿を見て私も余計に心配になってしまったけど、15年間愛育園で一生懸命過ごしてきたYさんならきっと大丈夫！という気持ちもありました。今までも辛いこと、悲しいこと本当にいろんなことがあったけど、決して逃げることなく一つ一つ乗り越えられたことはYさんにとってとても大きな力になっていると思います。Yさんは「15年間愛育園で過ごしてきた、年数だけ見ればとても長いけど、でも私にとって15年は本当にあつという間だった、園の生活で辛いこともあったけど、でも楽しいこの方が多かった。」と話してくれました。

何事にも全力で取り組める彼女ならきっと素敵な保育士さんになってくれることでしょう。そんな姿を楽しみに愛育園みんなでこれからもYさんを応援していきたいと思います！

卒園児童を送り出して

あおぞらホーム長 富澤正樹

3月21日、円福寺愛育園卒園式が行われました。今年卒園した高校3年生のH君は、私が中学2年から担当していた児童でした。中学生の頃のH君は、非常にひねくれており、屁理屈が多く、いつも隙あらば大人をねじ伏せてやろうと考えているような性格の子でした。そんな彼が、ある日、いくら屁理屈を言ったとしても、言い逃れできない失態を犯してしまった事がありました。これはチャンスと思った私は、厳しく注意をしました。すると彼の顔は青ざめて不安いっばいの顔になりました。対峙している私は、彼の体が見る見る小さくなっていくような錯覚をするほど、あまりにも脆弱な彼の姿を見ました。その瞬間、「ああ、この子の横柄な態度は自分に自信が無いからなんだ。ほんとは助けてほしいんだ。」と勝手に解釈し、そこから私と彼の二人三脚が始まりました。

H君は、能力は高いけど、すぐにつまづく子だったので、心を鍛えることを2人で目標にしました。甘えん坊の性格の彼でしたが、落ち込んだり、悩んだりした時にも、立ち止まらせない事が何よりも大事と考えた私は、あえて厳しい言葉で背中を押し続けました。すると徐々に成長が見られ、勉強や班活にのめりこんで頑張れるようになり、最終的に新潟大学の工学部に合格を果たしました。嬉しかった事は、ただ国立大学に合格したのではなく、4年前から受験を見据えた長期目標を達成させられた事と、それ以上に嬉しかった事は、H君が心の弱さを自覚して、自分自身の内面に向き



合う事ができるようになった事です。正直、まだまだ心は弱いままです。でも、園にいる間、H君は自分自身とよく闘い続けたと思います。H君には、口が酸っぱくなるほど、「他責はダメ」と言い続けました。そんな、人を責めたくなる自分ともよく闘っていました。

H君の卒園を目前にして、私はこみ上げるものが沢山ありました。自分はどれだけ事ができたかな？自信をつけてあげられたかな？もっと一緒にいたかったな…。そんな寂しい気持ちと、よく最後まで頑張ったなあ、えらい！という誇らしい気持ちが混ざり合って、最後の日となる卒園式では、今まで溜めておいた褒めたい気持ちをH君にストレートに伝えました。

H君は、私がこれまで卒園させてきた担当児童の中でも、色んな意味で一番大変でしたが、私にとって自慢の子です。大学でも自己研鑽を続けて、大きく成長してくれる事を願っています。そして、私は自身もまた、在園している児童を最大限支援していけるように心新たに頑張っていきたいと思っています。

卒園式

まごころホーム 竹内早季

先日、卒園式が行われ、あおぞらホームとまごころホームからは1名ずつ高校3年生が無事卒園することができました。卒園生のYさんは2歳から愛育園で生活していたということもあり、卒園間近になると不安を感じている言動が多々見られました。私はYさんが中3、高1の時に担当を持っており、その頃は私自身も今よりもっと未熟な保育士だったのでYさんとぶつかることがとても多かったです。特に高校受験の頃は学校のテストが終わるたびに「もっと勉強した方が良い」

「私は頑張ってるのに」という言い合いをして、Yさんに気持ちを分かってもらえないと泣いて訴えられたこともあります。卒園前、Yさんとその時の話になり、「いろいろあったね」と笑っていました。そんなYさんが高校生になってどんどん成長して、最後はバイトも勉強も一生懸命やりきっている姿を見てとてもうれしくなりました。そんなYさんだからこそ、子ども達からもたくさん別れを惜しまれていました。卒園式の準備を進めるうちにYさんが卒園する実感が少しずつ湧いてきて、当日スーツ姿のYさんを見た時に涙が出るくらい感動しました。日々の生活の中では素直になれず言い合いになることもありましたが、最後Yさんから「ありがとう」と言ってもらえて少しでも支えになれていたらいいなと思いました。寂しくはなりますが、Yさんがこれから自分の新しいスタートを



いい形で切れることを願って応援したいと思います。また、在園生もまた一つ学年が上がるので、一緒に成長していけるように頑張っていきます。

卒園式

あおぞらホーム 大山豊彦



3月21日には愛育園の卒園式がありました。今年度はあおぞらホームから1名、まごころホームから1名の卒園生を送り出しました。卒園式までに沢山の準備をしている中、卒園する2人も愛育園にいる残り少ない時間を大切にしている姿を見て、とうとうここから巣立つんだなと思うと精一杯送り出したいと思いました。私は、まだ1年目で愛育園の卒園式がどんなものなのか分かりませんでした。卒園する2人を精一杯

お送り出そうとする先輩職員方をみて、自分のできることを精一杯やるしかありませんでした。

卒園式当日、1年間を振り返るスライドの上映を見ながら自分自身もこの1年を振り返ることができました。また二人のお別れの言葉を聞いた時は、この愛育園に本当にたくさんの思い出が詰まっており、この愛育園で育ったことを誇りに思って旅立つんだなと感動しました。私も卒園する2人と関わる時間は少なかったかもしれませんが、目頭が熱くなるのを感じました。

こうやって毎年、愛育園では子ども達を自立させ、次のステージへと送り出しているのだなと思うと私自身、今後もっともっと子どもたちとの関係を強めながら、愛育園で頑張りたいと思われました。

在園児童代表の挨拶

園の花壇で揺れる花たちが、春の訪れを告げる季節になりました。卒園生の皆さん、本日はご卒園おめでとうございます。

H君とは、中学生の時、同じ野球部で部活をしていた事が思い出に残っています。僕は1年生で、わからない事があると、H君が親切に教えてくれてとても嬉しかったです。他にも僕が受験生の時に、たくさん勉強を教えてくださいました。僕は数学が苦手だったけど、平方根の解き方をわかるようになったのはH君のおかげです。ありがとうございました。

Yさんとは、小学生の時の課外活動で、たくさん遊んだことが思い出です。特に、泥遊びの時は、お互い泥だらけになりながら大はしゃぎして遊んだことは今でもとても良く覚えています。また、



Yさんは、キャンプや愛育園祭などの行事で、いつも全力で取り組んでいて、僕はいつもすごいな。と思っていました。

今日でお二人とお別れする事は、とても寂しいです。二人ともそれぞれの道を突き進もうとする姿がとてもカッコよく見えます。僕も、二人に負けないように、毎日頑張っ、自分の進路を切り開いていける人になりたいです。

H君、Yさん、ご卒業、本当におめでとうございます。今後のご活躍を祈念申し上げまして、在園児童代表の挨拶とさせていただきます。

在園児童代表 N

お別れ夕食会



あおぞらホーム 石龍成己

3月13日、お別れ夕食会がありました。今回は一味真さんに来て頂き、豪華な夕食会となりました。午後の時間を使い、ホームの子たちも協力し、机を並べたり、装飾を行いました。普段調理の先生が調理する場所には、一味真さんのスタッフが入り、ラーメンやうどんを作って渡してくれるブースを設けてくれました。特性のカレーをもらえるブースや、ローストビーフ、ハンバーグなどもありました。また、一番のメインとして、チョコフォンデュが食堂中央に設けられました。さすがにケータリングでチョコフォンデュなんか来るとは予想していなかったのか、みんな目を輝かせて食したり、記念撮影をしたりしました。昨年に引き続きケータリングでのお別れ夕食会となりましたが、昨年以上に子ども達が喜ぶ会となりました。

お別れ夕食会 あおぞら 児童感想

お別れ夕食バイキングが昨日ありました。食べ物は、からあげと骨付きチキンとハンバーグとローストビーフとエビフライとカニグラタンとコーンポタージュとポテトとラーメンとうどんとすしとカレーとチョコレートフォンデュです。チョコレートフォンデュは16本も食べました。いっぱい食べて初めての事がいっぱい、おいしくて嬉しかったと思います。沢山食べてとても満足しました。

(小4・S君)

バイキング

土曜日にお別れ夕食バイキングをしました。一味真の人たちが来てくれました。とてもおいしかったです。また来てほしいです。僕が食べたのは、デザートとラーメンと野菜とサンドイッチと肉です。おいしかったです。

(小4・S君)

お別れ夕食バイキング

3月13日にお別れ夕食バイキングをやりました。まずはじめに、一味真さんに来てもらいました。



そしてラーメンをまず初めに食べました。美味しかったです。そして最後にはデザートでチョコレートフォンデュでマシュマロを串にさして、他にもいろいろ果物がありました。とても美味しかったです。

(小5・K君)

卒業生お別れ夕食バイキング

3月13日に卒業生お別れ夕食バイキングがありました。色々なおかずなどがあってとてもおいしかったです。特に美味しかったのはローストビーフとから揚げ、カレー、ラーメンお寿司です。その特に美味しかった中でも特に美味しかったのはローストビーフとお寿司です。お寿司のマグロが一番おいしいネタでした。デザートのチョコレートフォンデュも6、7本食べました。一味真さんに感謝です。

来年も楽しみです。

(小6・M君)

お別れ夕食バイキング

3月13日に、お別れ夕食バイキングをしました。一味真さんが来ました。おいしいごはんをつかって下さって、すごく嬉しかったです。お寿司、ラーメン、うどん、いろんなものがあって美味しかったです。真ん中にはチョコレートフォンデュがあって、初めてやりました。すごく楽しかったです。次が楽しみです。

(小6・R君)

お別れ夕食会 まごころ 児童感想

3月13日は、バイキングをやりました。ジュースのみました。コーラをのみました。チョコを15こたべました。あと、とりにくと、ハンバーグをはんぶんこしました。チョコが、上から下へプシューと上からチョコがながれてきました。らいねんもたのしいことをやりたいです。

(小1・Rさん)

3月13日に、お別れ夕食バイキングをしました。一味真さんというお店の方たちが園に来てくださりとてもおいしそうなお料理を作ってくれました。どれもおいしかったけど、とくにおいしかった



のは、「骨付きお肉」です。私はすごくお肉が好きなので、ついついたくさん食べてしまいました。食べた数は15個です。みんなから、「すごい！」と言われました。最後に、卒園生から一言言ってもらいました。私もあと五年後なんだなと思いながら聞いていました。また、お別れ夕食バイキングをしたいと思います。

(中1・Rさん)

今年もコロナウイルスの影響で外食をすることはできませんでしたが、とても良い思い出を残すことができました。なぜかという、とっても美味しいお料理をみんなと楽しく食べられたからです。私は今日のお別れ夕食ディナーバイキングがとても楽しみだったので、飾り付けからすごく気合を入れて頑張りました。今日は、一味真さんが来てくださり、美味しい料理を作ってくれていました。私は、卒園生であるYちゃんと同じ席だったので、いっぱいお話をしながら食べていました。料理はみんなが大好きなものがたくさんありました。からあげに骨付きお肉、ローストビーフ、カニのグラタン、ハンバーグもありました。それから、カレーにラーメンとうどん、デザートにはなんとチョコフォンデュもあり、とてもびっくりしました。こんなに豪華なものがたくさんあり、とても選べないなと思っていました。ちょっと食べすぎちゃったけど、本当においしくてずっと食べていられたのですが、お腹がすごくいっぱいだったのでやめておきました。こんなに豪華な料理をこんなにいっぱい食べられるのは少ないので、来年も一年頑張っておきたいです。来年からは高校に入学して環境も変わっちゃうけれど、一年に一回の大事な行事ができるように頑張りたいです。最後にチョコフォンデュは本当においしかったです、すごい考えだなと思いました。

(中3・Aさん)

円福寺愛育園少年野球団卒団式

まごころホーム 橋本雅

3月6日に円福寺愛育園少年野球団の卒団式が行われました。今年度は、6年生の5名が卒団しました。4月に発足式を行い、1年生2名・3年生1名・4年生5名・5年生4名・6年生5名、計17名の選手で取り組みました。コロナウイルスの影響があり思うように練習や大会ができませんでしたが、そんな中でも野球できる喜びを感じ練習や大会に励みました。選手1人1人の練習に取り組む姿勢が変わり技術面がとても向上し、挨拶や道具の管理なども率先して出来るようになりました。あっという間の1年間でしたが、とても成長した1年間でした。



卒団式では、監督・コーチから挨拶をして頂き、卒団生に記念品を贈呈して卒団生から挨拶して頂きました。1人1人が円福寺愛育園少年少女野球を通して学んだことを立派に発表してくれました。さすが6年生、凄いなと感じました。中学に行っても円福寺愛育園少年少女野球団で学んだことを生かして頑張りたいです。5年生以下は1年間で学んだことを生かして来年度のチームに向けて一丸となって取り組んでいきたいです。

ホワイトデーお菓子作り

あおぞらホーム 山田忍

3月14日あおぞらホームではホワイトデーのお菓子作りをしました。

クッキーと生チョコを作ろうということで準備し、前日に中高生達と材料の買い出しに行きました。クッキー作りが一番大変な生地作りを調理の先生にお願いして事前に作ってもらったので型抜きをして焼くだけのいいとこ取りでした、クリスマスにまごころホームで作っていたのを見て「やってみよう」という子も多く今回やってみましたが、型抜きだけとはいえ皆真剣に作っていました。生チョコ作りは自分も経験がなかったので何日か前に自宅で予行練習のつもりで一回作ってから本番に挑みました。どの子も型に入れる所までは良かったのですが冷やして固めるところでうまくいかずその日のうちに食べることができませんでした。そして翌日になっても固まらず、型から一旦はずし全部ひとまとめにし、再度溶かして今度は大きい塊にしてから切り分けて食べました。クッキーも生チョコもどれもとても雑に出来上がっており、さすが男の子のワイルドさが出てるなー、と思いました。でも、自分達で作ったおやつは美味しく、どの子も楽しそうに作っていたのは良かったなあ、と感じました。



あおぞらホームだより

あおぞらホーム 畔上裕吾

春の日差しが心地よく、桜も見頃となり、愛育園の子どもたちは新年度に向けて着々と準備を始めています。あおぞらホームではこの春、中学校入学が3名、高校入学が1名となりました。中学生になる3人はどの部活動に入部するか悩んでおり、その悩む姿は期待や不安で一杯の様子でした。3人それぞれが部活動で力を発揮し、活躍する姿が楽しみです。

高校1年生になるHくんは昨年度から受験生として1年間毎日欠かさず必死に勉強に取り組む姿がとても印象的でした。そしてこの春に見事合格を掴み取り、晴れて高校生となりました。部活

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

に勉強など忙しくなるとは思いますが、高校生活を謳歌して欲しいです。

新年度になり、子どもたちは学年も上がりそれぞれがまた新しい目標を立て、その目標に向かって頑張っていこうとしています。職員として子どもたちに寄り添い、共に成長することができる1年にしていければと思います。

まごころホーム日より

まごころホーム 中村茉莉歌

3月は春休みに入り子ども達は園で過ごしたり、職員や他の子どもと外へ元気よく遊びに行ったりして過ごしています。最近まごころでは、オセロが流行っています。小学生から高校生まで仲良く遊んでいます。他にもトランプやUNOでも遊んでいます。

外で遊ぶ子は、縄跳びをしたり一輪車、自転車で少し遠くまで行ったりしています。

幼児さんも大きい公園で走ったり遊具で遊び楽しそうに過ごしています。

ずっと室内にいては子ども達もストレスが溜まってしまいます。それを発散できるように外でのびのびと遊ぶことは大切になってきます。

どんな遊びでも全力で一緒にやることで子ども達とコミュニケーションをとることができます。なかなか遠出ができないこの時期に長期休みという子どもたちとたくさん関われるいい機会なので新学期までの間、子ども達の暇がないように過ごせると良いなと思います。

調理室日より

調理員 松本智草

3月は一年の節目の月ですね。卒園する子も二人います。お誕生日メニューも最後となり調理員は力が入ります。思い起こせばコロナ禍の中、いろんな意味で大変な年でもありましたが、みんなが健康でいられるのもしっかりした料理を摂っているからだと思います。

これからもよりいっそう努力を重ね、子供達に美味しい料理を提供していきたいと思えます。3月も沢山の特別メニューが有りました。

3月2日(火) ひな祭りメニュー

押し寿司・あさりの潮・れんこんの炒り煮

3月3日(水) Rさん誕生日メニュー

牛丼・カリカリポテト・コールスローサラダ・プリンアラモード

3月8日(月)後期選抜応援メニュー

とんかつ・マセドアンサラダ・いちご・ジュース

3月11日(木)卒園生お祝いメニュー

たらこスパゲッティ・油淋鶏・温野菜&カプレーゼ・抹茶ケーキ

(令和3年4月10日発行 月刊「円福」487号付録)

3月13日(土)お別れディナーバイキング

鳥唐揚げ・ハンバーグ・エビフライ・ポテトフライ・グラタン・コーンスープ・ローストビーフ・手羽元照り焼きチキン・サンドイッチ・茶碗蒸し・サラダ・ドリンク・(主菜)握り寿司・ラーメン・カレーライス

(デザート)チョコレートフォンデュ

3月15日やしょうま作り

3月17日(水) A君誕生日メニュー

醤油ラーメン・鳥の唐揚げ・ポテトサラダ・チョコレートケーキ

3月19日(金) T君誕生日メニュー

海鮮丼・カリカリチーズ・カミカミサラダ・抹茶パフェ

3月21日(日)卒園式

かつ玄様からのお弁当・汁物・ジュース

3月22日(月)3時のおやつ

おはぎ

3月25日(木)園長先生のお誕生日メニュー

手打ちそば・天ぷら・ほうれん草のおひたし・フルーツ inゼリー

3月26日(金)法人役員会

えび天井・豆腐とわかめの味噌汁・漬物

3月29日(月)Mさん誕生日メニュー

ねぎとろ丼・クリスピーチキン・モッツェレラチーズサラダ・ストロベリーチーズケーキ

以上